

## 問題例

### 【問題例 1】

港則法に関する（１）～（３）の各文章について、正しいものに○、誤っているものに×を付した場合の組合せを、下欄の１～４の選択肢から選び、その番号を答えよ。

（１）

- ア．特定港の境界付近において危険物の運搬をしようとするときは、港長の許可を受けなければならない。
- イ．特定港においていかだを運行しようとする者は、港長の許可を受けなければならない。

（２）

- ア．特定港内において、端舟を修繕し、又は係船しようとする者は、その旨を港長に届け出なければならない。
- イ．平水区域を航行区域とする日本船舶は、特定港に入出港する場合においても、入港届及び出港届、又は入出港届を港長に提出することを要しない。

（３）

- ア．入港届又は入出港届の提出は、入港する前に港長に提出しなければならない。
- イ．総トン数20トン未満の外国船舶が特定港に入港する場合、入港届又は入出港届を港長に提出することを要しない。

### 【選択肢】

1. ア-○ イ-○	2. ア-○ イ-×	3. ア-× イ-○	4. ア-× イ-×
------------	------------	------------	------------

### 【問題例 2】

大阪市は、過去の台風高潮での被害を教訓に、臨港地区及び背後市街地を防御するため、防潮堤・防潮扉・水門の整備を進めているが、日本の沿岸における台風や強い低気圧に伴う高潮は、どのような条件のもとに発生しやすいか。3つあげよ。（ただし、港の地形や位置、台風の経路によるものを除く。）